

令和4年10月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和4年10月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

八戸市の菓子製造販売「しんぼり」が製造する、南部せんべいとチョコレートを組み合わせた人気商品「チョコQ助」の販売を2カ月ぶりに再開しました。

新型コロナウイルス禍で土産品の需要が落ち込む中、地元住民向け商品として開発され、ごまが入ったせんべいの塩加減とチョコの甘さがマッチし、発売以降売り切れが続出するヒット商品です。

八戸市の八食センター内の直営店や県内のスーパーなどで購入できるほか、都内では八戸都市圏交流プラザ「8base(エイトベース)」でも販売しています。

皆様、この機会に是非「チョコQ助」をご賞味ください。

※人気商品の為、品切れとなる場合がございます。予めご了承くださいませよう、  
お願いいたします。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸10月号 レポート

令和4年9月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	陸自八戸180人増員 来年度防空能力強化へ 部隊改編
(2)	八戸市が中小企業アンケート「コロナで売り上げ高減」6割超
(3)	八戸市「困難地域拡大」津波避難計画 改定案を公表
(4)	更上閣にぎわい拠点に 10月から実証実験
(5)	八戸にコールセンター Vinculum（大阪）、アテナ（大阪） 八戸に進出
(6)	映画「マイ・ブローケン・マリコ」 八戸地域 全国へ発信
(7)	チーノ再開発構想 八戸市14億円補助

## 【産業】

記事	概要
(8)	八戸に海外クルーズ船を 県、ツアー事業者招きPR
(9)	八戸圏域企業、学生と連携 海外販路開拓推進 8base（東京）圏域の物産PR
(10)	高齢者見守りアプリ開発 池田介護研究所（八戸）
(11)	北奥羽企業、東京で説明会

## 【地域】

記事	概要
(12)	中心街 新たなにぎわいを 八戸市庁前で「八戸市庁前青空マーケット」開催
(13)	黒沢さん（八戸高専）研究・開発 皮膚がん診断装置に助成
(14)	建築家高砂さん（八戸）「街に新風を」バス待合所カラフルに装飾
(15)	八戸の映画文化守れ フォーラム八戸閉館受け有志団体の集い
(16)	ひょう害リンゴ スムージーに 八学大が開発、被災農家支援

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	世界レスリング連合 伊調さんや小原さん、吉田さん 女子3人殿堂入り
(18)	YSアリーナ初の国際大会 八戸24年2月にジュニアW杯スピード最終戦
(19)	浅田真央さんアイスショー 豪華な演出1850人魅了

## 【行政】

記事	概要
(1)	<p><b>陸自八戸180人増員 来年度防空能力強化へ 部隊改編</b></p> <p>防衛省は8月31日、陸上自衛隊八戸駐屯地（八戸市市川町）の定員を、約1430人（22年度末見込み）から180人程度増やし、約1610人とする方針を明らかにした。「第101高射特科隊」を2023年度に廃止し、新たに「第5高射特科群」（仮称）を編成する。緊迫する国際情勢に伴う安全保障環境の変化を踏まえ、防空能力を強化するのが狙い。近年続いてきた減員による地元経済や防災力への影響を懸念し、要望活動を展開してきた市や関係団体は「地域活性化につながる」などと期待している。</p>
(2)	<p><b>八戸市が中小企業アンケート「コロナで売上げ高減」6割超</b></p> <p>八戸市は9月1日、市内の中小企業と小規模企業2千社を対象に実施した、新型コロナウイルスや物価高騰の影響などに関するアンケートの結果を公表した。回収率は41.8%。新型コロナまん延前の2019年と比べ、売上げが減少した企業は6割超で原油や物価の高騰による経営への影響は約7割が「影響を受けている」と回答。今後の見込みについては、「悪い影響が大いにある」「少しある」が8割超。経営上の課題については「取引先（客数）の維持」が最も高かった。半数近くの企業が20年1月以降、新たな借入れを行ったと答え、使い道は「当面の資金繰り」が最多だった。原油や物価の高騰に伴うコスト上昇分を「価格転嫁できていない」は6割、円安の影響は「マイナス」が4割超だった。</p>
(3)	<p><b>八戸市「困難地域拡大」津波避難計画 改定案を公表</b></p> <p>八戸市は9月1日、津波避難計画の改定案を公表した。見直しは2014年以来で、青森県が21年度に公表した日本海溝・千島海溝沿いの地震などによる津波浸水想定を踏まえたもの。津波到達まで逃げるのが難しい「避難困難地域」は沿岸部や河川流域部で拡大。困難地域は各地の津波到達時間を基に洗い出した。改定案には、住民から要望があった自動車による避難や避難路整備、指定避難所の拡充の検討などの課題も盛り込んだ。パブリックコメント（意見公募）や専門家からの意見聴取を経て、今秋にも策定する。改定案は市のホームページなどで見られる。</p>
(4)	<p><b>更上閣にぎわい拠点に 10月から実証実験</b></p> <p>八戸市は、同市本徒土町にある国登録有形文化財「更上閣」の日常的な利用促進へ向けた事業に着手する。10月15～24日には、第一弾として更上閣敷地内にキッチンカーを出店し、人を呼び込む実証実験を実施する。期間中は、市が委託した市内の事業者が日替わりで2、3店舗出店し、中庭には飲食スペースを設けるなどする。出店者や来訪者へのアンケートを行い、市民の意見や利用状況を踏まえながら平日の利用者増加を図りつつ、にぎわい創出へ向けた課題を探る。キッチンカーイベントは23年度も春、秋に予定しており、24年度からの本格的な事業化を目指す。</p>
(5)	<p><b>八戸にコールセンター Vinculum（大阪）、アテナ（大阪） 八戸に進出</b></p> <p>青森県と八戸市は人材派遣やコールセンター事業などを手がける「Vinculum（ウインクルム）」（大阪市）と同社の子会社である総合人材サービスなどを手がける「アテナ」（大阪市）の2社と事業所開設に関する基本協定を締結し、誘致企業に認定したと発表した。八戸事業所は10月3日から操業を開始し、同市十八日町で主にコールセンター事業を展開する。両社とも東北地方への進出は初めてで、八戸を拠点にエリアでの事業拡大を目指す。将来的には数百人規模の雇用を見込むという。市の誘致認定件数は128件となった。</p>

(6)	<p><b>映画「マイ・ブロークン・マリコ」 八戸地域 全国へ発信</b></p> <p>八戸市やおいらせ町などでロケが行われた永野芽郁さん主演の映画「マイ・ブロークン・マリコ」が9月30日から公開されている。本作品は、2021年文化庁メディア芸術祭マンガ部門新人賞などを受賞した平庫ワカさんの人気コミックの実写版。八戸地域では昨年11月に撮影が行われ、種差海岸は映画の印象的なシーンの舞台になっているという。八戸圏域版DMO「VISITはちのへ」は、全国の劇場で鑑賞者に限定ポストカードを配布するほか、撮影場所を紹介する特設ページを開設。ポストカードには種差海岸などロケーションマップや観光物産サイトにアクセスできるQRコードなどを記載。また、サイト内のロケ地紹介ページでは映画公開後にロケ地情報を紹介するなど八戸地域の情報を全国に発信し、観光誘客を目指す。</p>
(7)	<p><b>チーノ再開発構想 八戸市14億円補助</b></p> <p>八戸市十三日町の商業ビル「チーノ八戸」一帯で計画される民間主導の再開発で、国と市の本年度分の補助金を盛った一般会計補正予算案が9月27日、市議会定例会本会議で可決された。再開発は「フージャーズコーポレーション」(東京)が計画。建物を解体後、分譲マンション2棟や複合ビルなどに建て替える大型計画の総事業費は約95億円を見込む。低迷する中心街の活性化や居住促進につなげるため、市は4カ年で約14億円を拠出する。同社は、10月から事業に着手し、2026年の完成を見込む。</p>

**【産業】**

記事	概要
(8)	<p><b>八戸に海外クルーズ船を 県、ツアー事業者招きPR</b></p> <p>海外クルーズ船の誘致促進に向け、青森県は9月1日から2日間の日程で、寄港地を起点にツアー造成を担うランドオペレーター事業者を招き、観光地を紹介する取り組みを始めた。ランドオペレーターは、旅先での移動手段や食事といった現地の手配を担う事業者で、今回は首都圏などの3社から計5人が参加。初日は八戸港への寄港を想定し、種差海岸などを見学した。県によると、クルーズ船の誘致に向けた新たなオプションツアーの開発として、八戸エリアに注目しており、地域資源を生かした独自のプログラムを企画する「着地観光」をアピールし、これまでに例のない八戸港への海外客船の誘致も目指すという。新型コロナウイルスの収束後を見据え、インバウンド(訪日客)の拡大を狙う。</p>
(9)	<p><b>八戸圏域企業、学生と連携 海外販路開拓推進 8base (東京) 圏域の物産PR</b></p> <p>八戸圏域の企業や八戸学院大で組織する「八戸圏域・地域グローバルイノベーション推進協議会」が、国内外の販路開拓を目指す新たな取り組みを進めている。9月3日、4日には、東京・内幸町の八戸都市圏交流プラザ「8base」を活用した事業を展開した。店舗の飲食スペースでは、参加企業の食材を取り入れた週末限定メニューを用意し、各企業の商品開発などについて事前に学習してきた学生たちが、来店客にお薦めのポイントを説明したり、物販コーナーで圏域の認知度などを尋ねるアンケートを実施するなど、来店客の反応やアンケートを基にしたマーケティング戦略を探った。</p>

(10)	<p><b>高齢者見守りアプリ開発 池田介護研究所（八戸）</b></p> <p>八戸市で介護事業などを手がける池田介護研究所は、同市のシステム開発会社「アイティワーク」と共同で、主に1人暮らしの高齢者を対象とした見守りアプリの開発に取り組んでいる。アプリは「見守り」と「仮想デイサービス」の2種類の機能があり、アップルウォッチやiPhoneなど米アップル社製の端末にアプリをダウンロードして使用する。「見守り」はウォッチを身に付けてアプリを起動すると介護事業所の端末に心拍数などのデータが送られる仕組み。体調に変化があれば別居する家族や職員が駆け付けられる。また、「仮想デイサービス」は事業所が行う体操や利用者同士の交流にオンラインで参加できるシステム。実証実験を経て来春の本格運用を目指す。</p>
(11)	<p><b>北奥羽企業、東京で説明会</b></p> <p>北奥羽地方を中心に事業を展開する企業の人材確保に向けた「リクルートラウンジ」の企業内説明会が9月17日に、東京都中央区のTKP東京駅日本橋カンファレンスセンターで開催された。Uターン就職を検討する学生や転職を希望する社会人に対し、参加企業が職場環境などを紹介した。今年で5年目を迎えたリクルートラウンジは、八戸市以外でも首都圏向けの説明会を開催している。この日は流通や金融、ITといった幅広い業種の15社がブースを出店。27社が資料参加でエントリーした。各企業の担当者は、映像や資料を用いて自社の魅力をアピールし、来場者は真剣な表情で説明に耳を傾けた。</p>

【地域】

記事	概要
(12)	<p><b>中心街 新たなにぎわいを 八戸市庁前で「八戸市庁前青空マーケット」開催</b></p> <p>グルメやパフォーマンスなどを楽しめるイベント「八戸市庁前青空マーケット」が初めて市庁前広場で開かれた。八戸商工会議所青年部のメンバーを中心とした市民有志による実行委員会が主催。会場には、同市のブランド牛「八戸毬姫牛」を使った料理やラーメン、クラフト商品などを販売する約50店舗が出店。ダンスや音楽ライブなども披露され、来場者からは大きな拍手が送られた。今秋にも、2回目の開催が計画されており、新型コロナウイルスの影響などで冷え込む中心街の活性化につなげたい考えだ。</p>
(13)	<p><b>黒沢さん（八戸高専）研究・開発 皮膚がん診断装置に助成</b></p> <p>八戸高専機械システムデザインコース1年の黒沢航二郎さんが取り組む、皮膚がん診断装置の開発に関する研究が、実践的な技術の研究開発を行う高専専攻科生らを対象とした「長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会」（新潟県長岡市）の研究助成に採択された。八戸高専は弘前大などと共同で、皮膚がんと健全な皮膚では熱が伝わるスピードが異なることに着目し、熱の伝わり方からがんを判別する装置を開発した。黒沢さんは、開発した装置で皮膚がんの検出が可能かどうか、コンピューター上で皮膚構造を再現してシミュレーションし、表皮では熱の伝わり方の違いを検出できるという結果を導き出した。</p>
(14)	<p><b>建築家高砂さん（八戸） 「街に新風を」バス待合所カラフルに装飾</b></p> <p>今春閉店した八戸市三日町の老舗百貨店・三春屋外観とその周辺を色鮮やかにデザインするプロジェクト「旧三春屋おめかし計画」が始動した。企画したのは八戸市の建築家高砂充希子さん。バス待合所として利用されている正面玄関のガラスをカラフルなフィルムでコーティング。10月にはワークショップを開き、市民と一緒に店舗外にある床のタイル約3千枚の色を塗る計画。中心街の衰退が叫ばれる中、カラフルにデザインし街に新たな風を吹かせたいと強調する。今後はキッチンカーの出店や音楽ライブなどイベントの開催場所としての利用を見込む。</p>

(15)	<p><b>八戸の映画文化守れ フォーラム八戸閉館受け有志団体の集い</b></p> <p>八戸市内唯一の映画館「フォーラム八戸」が来年1月5日に閉館することを受け、映画ファンによる有志団体「これからの映画文化を盛り上げる会@青森」は9月23日、初の市民参加型のトークイベントを開催した。参加者はフォーラムの思い出や魅力を語り合いながら、八戸に根付いた映画文化の継承について意見交換した。市内では約20年前に映画館がなくなった際、市民が立ち上がり復活にこぎ着けた経緯がある。将来的なフォーラム八戸の再出店に向け機運醸成を図り、大きなムーブメントにつなげたい考えた。</p>
(16)	<p><b>ひょうろりんご スムージーに 八学大が開発、被災農家支援</b></p> <p>規格外農作物活用の研究に取り組む八戸学院大と八戸市は、7月の降ひょう被害に見舞われたりんごなどを原料にした「八学スムージー」を開発した。両者は2010年締結の連携協定に基づき、廃棄農作物の削減と新たな価値創出に向け、今年4月から加工品開発に着手。同大地域経営学科の井上丹（あかし）講師とゼミの学生が担当、被災農家支援も目指した。八学スムージーは、10月10日同市の「はっち」1階ギャラリー1で、1杯250円で限定50杯販売する。降ひょうで傷はあるが食用に問題はないりんご、ミニトマト、ニンジンなどの農作物も試験販売する。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	<p><b>世界レスリング連合 伊調さんや小原さん、吉田さん 女子3人殿堂入り</b></p> <p>世界レスリング連合（UWW）は、9月9日、日本から八戸出身の伊調馨さん（ALSOK）と小原日登美さん、吉田沙保里さんの女子3人が殿堂入りしたと発表した。伊調さんは16年リオデジャネイロ五輪で史上初となる女子個人種目の4連覇を成し遂げ、世界選手権も10度優勝した。小原さんは世界選手権を8度制し、12年ロンドン五輪女子48キロ級で金メダルを獲得した。吉田さんは2004年アテネ大会からの五輪3連覇や世界選手権13連覇などの偉業を達成している。</p>
(18)	<p><b>YSアリーナ初の国際大会 八戸24年2月にジュニアW杯スピード最終戦</b></p> <p>八戸市は、9月12日、2024年2月3、4日に行われる「ジュニアワールドカップ（W杯）スピードスケート」最終戦の会場が、YSアリーナ八戸に内定したと発表した。同年実施予定の世界ジュニア選手権が2月9日～11日に開催されることも決定し、同アリーナを会場に、2週連続で世界大会が開かれることになった。両大会とも20ヶ国以上から約130人の選手が出場し、スタッフらも含めると、約200人の参加が見込まれる。</p>
(19)	<p><b>浅田真央さんアイスショー 豪華な演出1850人魅了</b></p> <p>フィギュアスケート女子で2010年バンクーバー冬季五輪銀メダリストの浅田真央さんが総合演出する新たなアイスショー「BEYOND」の全国ツアーの青森公演が9月17～19日にフラット八戸で開催された。初日のアイスショーには、浅田さんや、八戸出身で1998年長野五輪代表の田村岳斗さんら10人が出演し、ジャズやバレエの曲に合わせて華麗な演技を披露した。公演は、「Sing Sing Sing」でにぎやかにスタート。「シェヘラザード」や「白鳥の湖」の演目では、浅田さんが男性メンバーとのペアでリフトなどの大技を披露し約1850人の観客を魅了した。</p>

はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に!

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただきます。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

#### 申込み方法

##### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



##### インターネット

- 下記2つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



#### 送付先

### 八戸市 広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

※担当部署が住民税課から広報統計課に変わりました。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 松橋 大輔 [主事] 前田 哲 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。